

# ダンスを用いた防災教育教材開発プロジェクト



【社会的背景】近年多発する地震や豪雨などの自然災害を受け、防災教育の重要性が改めて注目されている。これまでの防災教育は、知識の習得に重きが置かれ、実践的な学びは避難訓練等の行事に限定される傾向にある。

【活動の目的】ダンスを用いた身体的な学びを行うことで、災害時に咄嗟に身の安全を確保する動作の習得を促し、地域の防災能力を向上させる。また、産学官連携による多面的なプロジェクトの推進を目指す。

【活動の概要】地震から命を守る3つの動作「ShakeOut」(しゃがむ・まもる・動かない)を身体を動かし習得する防災ダンスを開発し、その学習効果の検証と、教育現場での実践やイベント等での普及啓発活動が主な取り組みである。

## 【期待される効果】

- 1.災害発生時における課題「凍り付き症候群」の回避:防災に対する心構えや、身の安全を確保する動作を実践的に習得することで、災害発生直後に、身体が凍りついたように動けなくなる「凍り付き症候群」を回避する。
- 2.地域社会における「共助」の形成:ダンスという非言語コミュニケーションツールを用いることで、地域における異世代間の交流を活性化させ、住民同士が共に助け合う「共助」の姿勢を育む。



岡山大学教育学研究科 准教授 酒向 治子

<https://sakolabo.jp>